

令和7年度活用事業のご紹介

事業名：ながさきピース文化祭2025事業

長崎県内で開催された「ながさきピース文化祭2025」において、対馬市では、地域の文化資源などの特色を生かした文化の祭典を開催しました。対馬の城郭や万葉文化、伝統芸能、短歌大会を通じて、市民や来訪者が歴史的価値を深く学び発信する機会を創出することが出来ました。また、市民ミュージカルや障害者作品展の開催により、世代や枠組みを超えた交流が生まれ、創作の力や表現の魅力を広く共有することが出来ました。イベント参加人数は、15,218名でした。

ふるさと納税充当額	4,000,000円
-----------	------------

事業名：総合計画策定事業

第2次対馬市総合計画の期間満了に伴い、SDGsや人口減少・少子高齢化等の社会問題、新たな市民ニーズを踏まえた地域の自主性及び自立性を目指した市民主体の地域に根ざしたまちづくり計画とするため、地区別市民会議や審議会、作業部会を開催し、第3次対馬市総合計画を策定しました。

○成果品：冊子 300部 概要版 14,000部 ※概要版は、市内各世帯に配布。

ふるさと納税充当額	10,000,000円
-----------	-------------

事業名：海ごみアートNFT事業

令和5年度に制作した海ごみアート作品を活用して、島内外での作品展示やワークショップを通じて対馬の海ごみ問題の啓発活動を行いました。

○作品展示：対馬空港、十八親和銀行対馬支店、大阪・関西万博 等

○ワークショップ：大阪・関西万博、IVUSA対馬イベント

○メディア・講演：日本経済新聞掲載、長崎新聞掲載、九州大学うみつなぎプロジェクト出演 等

ふるさと納税充当額	3,425,000円
-----------	------------

令和7年度活用事業のご紹介

事業名：有人国境離島運賃低廉化事業負担金

本土から遠く離れ、交通に要する時間や費用の負担が大きいという対馬市の条件不利性を鑑み、継続的な居住が可能となる環境を整備する観点から、航路・航空路の運賃を低廉化するため経費の補助を行いました。

○ジェットfoil: 65,457名 ○フェリー: 33,199名 ○飛行機: 128,069名

ふるさと納税充当額	69,200,000円
-----------	-------------

事業名：雇用機会拡充支援事業

対馬市内において持続的に居住が可能となる環境整備を図ることを目的として、創業や雇用増を伴う事業拡大を行う事業者に対し事業費の一部を支援し、対馬市内における雇用機会の拡充を図りました。

○補助金交付: 5事業(雇用者数6名)

○創業・事業拡大支援セミナー開催: 2回

○島外への補助事業広告宣伝: 2回

○島内事業者へのアドバイザーの派遣: 1回

ふるさと納税充当額	8,000,000円
-----------	------------

事業名：対馬3高校魅力化推進事業

島内3高校の魅力化を図り、島内高校進学率を上昇させ、人口減少の抑制を図るため、陸上競技指導者による対馬高校陸上部の指導や陸上競技指導者による小・中学校を対象とした普及活動、一流選手・指導者によるスポーツ普及イベント、島内高校の部活動遠征に係る費用の一部助成を行いました。陸上競技指導者の広範囲にわたる活動により、対馬高校の陸上部の部員が増加傾向など一定の事業効果が出ています。

ふるさと納税充当額	10,000,000円
-----------	-------------

令和7年度活用事業のご紹介

事業名：ふるさと納税返礼事業

本市へふるさと納税をしていただいた方へ送付する返礼品の一部を負担する費用として活用しました。

○令和7年度寄付金額:274,016,780円

○令和7年度寄付件数:8,818件

ふるさと納税充当額	76,200,000円
-----------	-------------

事業名：市営有償バス運行事業

地域住民の生活交通手段を確保し、公共の福祉の増進を図るため、市内15系統において自家用有償バスを運行しました。

ふるさと納税充当額	21,000,000円
-----------	-------------

事業名：国境マラソンIN対馬開催事業

「日本の渚百選」三字田浜においてマラソン大会を開催し、多くの方に対馬の自然・文化・人情に触れていただきました。参加者は、1,328名(島内:392名 島外:436名 海外:500名)であり、流動人口も多いことから対馬のPRができ、観光の振興を図ることができました。また、イベントの開催にあたり、地域住民が一体となることで地域活性化への意識向上も図られました。

ふるさと納税充当額	2,000,000円
-----------	------------

令和7年度活用事業のご紹介

事業名：GIS写真地図データ更新事業

市の業務に幅広く活用している地理情報システムにおいて、市内全域の航空写真の調整やシステムへの反映を行い、現況確認が可能になったことで、事務の効率化に繋がりました。

ふるさと納税充当額	20,000,000円
-----------	-------------

事業名：海岸漂着物等地域対策推進事業（日韓ビーチクリーンアップ）

韓国側へ面している対馬西海岸は、海流と北西風の影響もあり、外国のものと思われるポリ容器などの大量のごみが漂着しており、海洋環境及び漁業等への影響が危惧されています。

このような漂着ごみ問題を日韓双方で取り組むとともに両国間の交流促進を図りました。海岸清掃とワークショップの参加延べ人数は、301名でした（釜山外大、対馬高校、一般ボランティアを含む）。また、海岸漂着物等は、20m³を回収しました。

ふるさと納税充当額	1,000,000円
-----------	------------

事業名：ツシマウラボシシジミ保全事業

対馬固有亜種として対馬市の天然記念物に指定されているツシマウラボシシジミの絶滅を防ぎ、野生下で安定的な個体群を創出することを目的として、地域のボランティア団体や小中高等学校等と連携協力し、防鹿柵で囲った保護区を設置するとともに、食草苗を栽培し保護区に植栽することで保護区内において生息環境の保全再生に取り組みました。好適な生息環境を復元したことで、野生下における安定的な個体群の創出に繋がりました。

ふるさと納税充当額	4,000,000円
-----------	------------

令和7年度活用事業のご紹介

事業名：対馬地区ネコ適正飼養推進事業

イエネコ由来のツシマヤマネコへの感染症リスク及びノラネコとツシマヤマネコの生態的競合を排除することを目的として、飼いネコの適正飼養（完全屋内飼育）を推進しました。また、野外にいるノラネコをゼロにする「対馬全島ノラネコ不妊化事業」の事前準備として、施設整備や事業に係る物品の購入・整理等を行いました。

ふるさと納税充当額	600,000円
-----------	----------

事業名：ツマアカスズメバチ防除事業

ツマアカスズメバチは環境適応性が高く繁殖力も強いいため、侵略的な外来種として世界規模で分布拡大が懸念されており、生態系被害等が懸念されています。効果的な防除手法を確立することを目的として、ドローンとAI技術を活用した巣探索技術開発とより簡単かつ安全に巣を駆除できる物理的・化学的防除手法の試行に取り組みました。ドローンの高性能化に伴い、路上から目視では確認できない位置（山頂部、谷奥部）にある巣を発見することができました。

ふるさと納税充当額	3,000,000円
-----------	------------

事業名：対馬厳原港まつり振興会補助金

対馬の地域性を活かすため朝鮮通信使行列振興会と連携した朝鮮通信使行列再現など様々なイベントを企画し、島内外からの集客を図り交流人口の拡大、地域活性化及び地域経済活動の向上を図りました。

○観光客数 1日目（前夜祭） 8,500人 2日目（本祭） 7,500人 延べ 16,000人

ふるさと納税充当額	5,900,000円
-----------	------------

令和7年度活用事業のご紹介

事業名：対馬市中小河川ハザードマップ作成事業

長崎県が洪水浸水想定区域指定した対馬市内35水系についてハザードマップを作成、印刷し該当する地区の住民に対して配布を行いました。各世帯における潜在的な浸水リスク(想定される浸水深や継続時間)および、最寄りの指定緊急避難場所への安全な避難ルートが視覚的に明確となったことから、防災体制の強化を図ることができました。

ふるさと納税充当額	8,000,000円
-----------	------------

事業名：博物館特別展示事業

対馬市民が通常、接する機会が少ない他の博物館や研究機関等が所有する貴重な文化財または対馬博物館が独自に行う調査、研究の成果を展示し、広く歴史や文化、芸術、自然等に関する理解を深め、ふるさと「対馬」に対する興味や関心を高める機会を創出するとともに、日本初公開などの付加価値のある特別展を開催することで交流人口拡大による消費拡大を図りました。

○資料展観覧者数:1,827名 ○特別展観覧者数:1,917名 ○展覧会図録作成部数:3,000部

ふるさと納税充当額	18,000,000円
-----------	-------------

事業名：博物館教育普及事業

体験学習や講演会、ワークショップなどの教育普及活動を通して、対馬の歴史や文化、芸術、自然等について学ぶ機会を創出しました。

また、市内小中学校を対象に博物館の見学会や出前講座を実施することで教室では育むことのできない感性を養うとともに認識を深め、対馬の将来を担う子ども達の郷土愛の醸成を図りました。

○教育普及事業イベント参加延べ人数:419名(古文書修理体験としおり作り 等)

ふるさと納税充当額	1,000,000円
-----------	------------

令和7年度活用事業のご紹介

事業名：博物館収蔵資料修復・複製制作事業

貴重な資料の島外流出を防ぐとともに劣悪な環境により毀損が進む資料を守ることを目的に博物館資料の資料修復および複製品製作を行いました。

○博物館資料の修復 ・主藤壽家文書:16通 ・絵画作品(津江篤郎):1点

○博物館資料の複製品製作 ・増田山遺跡出土広形銅矛(対馬博物館蔵):1点 ・人參代往古銀(日本銀行金融研究所 貨幣博物館蔵):1点

ふるさと納税充当額	10,000,000円
-----------	-------------